

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号						担当課等	水道課				
事務事業名	水道ビジョン・経営戦略策定業務委託										
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	2	事業開始年度	平成 30 年度	

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P94 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	4 上下水道	(1) 上水道事業の推 進	①～③				
関連する個別計画	湯河原町水道ビジョン								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	国及び神奈川県の新たな「水道ビジョン」との整合性を図るとともに、水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、50年、100年先の将来を見据えた水道の理想像と取り組みの目指すべき方向性やその実現方策を示す「水道ビジョン」を策定するものです。また、この「水道ビジョン」に掲げる実現方策を中長期的な視野で事業経営に取り組むための基本計画である「経営戦略」を策定するものです。								
対象	湯河原町上水道事業及び城堀簡易水道事業								
内容	水道ビジョン及び経営戦略策定								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	9,136,800	7,603,200		
コスト 人件費	常勤職員	732,800	2,227,200		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	732,800	2,227,200		0
総事業費	9,869,600	9,830,400		0	
財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	9,869,600	9,830,400		0
財源合計	9,869,600	9,830,400		0	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
水道ビジョン及び経営戦略	成果品の納入	式			一式

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 水道事業者が策定するものである
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 今後の事業経営の効率化、財政基盤の強化が図られる
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 将来を見据えた、水道ビジョンと経営戦略が策定できた
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町上水事業全体の将来像及び経営計画であるため、受益の機会均等である
令和元年度までの自己評価または改善点	新水道ビジョン及び経営戦略を策定した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	水道事業者が策定するものである。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和元年度末に策定業務委託は完了 令和2年度以降は、事業の推進に取り組む	
令和3年度以降の方向性	新水道ビジョンに掲げる将来像に向けた事業の推進及び経営戦略に掲げる事業の推進 (水道ビジョン及び経営戦略の策定は、令和元年度で終了)	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	
------	----	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価		
------	--	--

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号			担当課等	水道課							
事務事業名	配水管整備事業										
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	2	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P94 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	II 快適な住環境の構築	4 上下水道	(1) 上水道事業の推進	① 上水道の整備				
関連する個別計画	湯河原町水道ビジョン								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	配水機能の適正な維持と漏水等事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図る。								
対象	湯河原町上水道区域の受水者								
内容	老朽化した配水管を毎年定期的・計画的に布設更新する。 また、漏水等により早急な対応が必要な箇所についても随時対応する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	38,333,520	27,396,600	44,572,000		
	人件費					
	常勤職員	2,931,200	2,969,600	2,866,000		
	会計年度任用職員等		400,000	1,290,932		
	人件費合計	2,931,200	3,369,600	4,156,932		
	総事業費	41,264,720	30,766,200	48,728,932		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	29,200,000	16,400,000	36,000,000		
	その他特定財源	760,245	2,534,987			
	一般財源	11,304,475	11,831,213	12,728,932		
	財源合計	41,264,720	30,766,200	48,728,932		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
工事箇所数		配水管布設工事	路線	7	5	7

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 水道法の規定により町(水道事業者)が実施するものである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した配水管を定期的・計画的に更新することで、漏水等の事故に未然に防ぐことができ、水道水の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏水等の事項に対する未然防止と水道水の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 湯河原町上水道事業給水区域全域が対象であるため、受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	老朽化した配水管から順次、定期的・計画的に更新した。 下水道課及び土木課と連携し、合併工事とすることで経費の抑制に努めた。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	水道事業の全体又は施設の維持管理等部分的な第三者委託は可能ではあるが、費用等も含めて検討する必要があるため導入には至っていない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化している配水管から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和3年度以降の方向性	配水機能の適正な維持と漏水等事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図るため、定期的・計画的に実施していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	定期的・計画的に実施し、漏水等の事故を未然に防ぐよう努めること。
------	----------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な維持管理に努めていただきたい。
---------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号		担当課等	水道課								
事務事業名	浄水場整備事業										
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	2	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P94 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	II 快適な住環境の構築	4 上下水道	(1) 上水道事業の推進	① 上水道の整備				
関連する個別計画	湯河原町水道ビジョン								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	老朽化した浄水場等施設及び設備の更新を実施し、安全安心な水道水の安定供給を図る。								
対象	湯河原町上水道区域の受水者								
内容	日々の巡回及び各種点検の結果を基に、計画的に更新する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費		7,909,000	10,393,900		
	人件費		3,712,000	3,582,500		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計		3,712,000	3,582,500		
	総事業費		11,621,000	13,976,400		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債		6,800,000	10,300,000		
	その他特定財源					
	一般財源		4,821,000	3,676,400		
	財源合計		11,621,000	13,976,400		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
工事箇所数		浄水場整備工事	箇所		2	3

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 水道法の規定により町(水道事業者)が実施するものである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 計画的に更新することで、事故を未然に防ぐことができ、水道水の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 事故に対する未然防止と水道水の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 湯河原町上水道事業給水区域全域が対象であるため、受益の機会が均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	不具合の発生する恐れの高い設備から順次、定期的・計画的に更新した。
--------------------	-----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	水道事業の全体又は施設の維持管理等部分的な第三者委託は可能ではあるが、費用等も含めて検討する必要があるため導入には至っていない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	不具合の発生する恐れの高い設備から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和3年度以降の方向性	配水機能の適正な維持と事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図るため、定期的・計画的に実施していくとともに、安全性を高めるため新たな設備を導入する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	定期的・計画的に実施し、事故を未然に防ぐよう努めること。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な維持管理に努めていただきたい。
---------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--